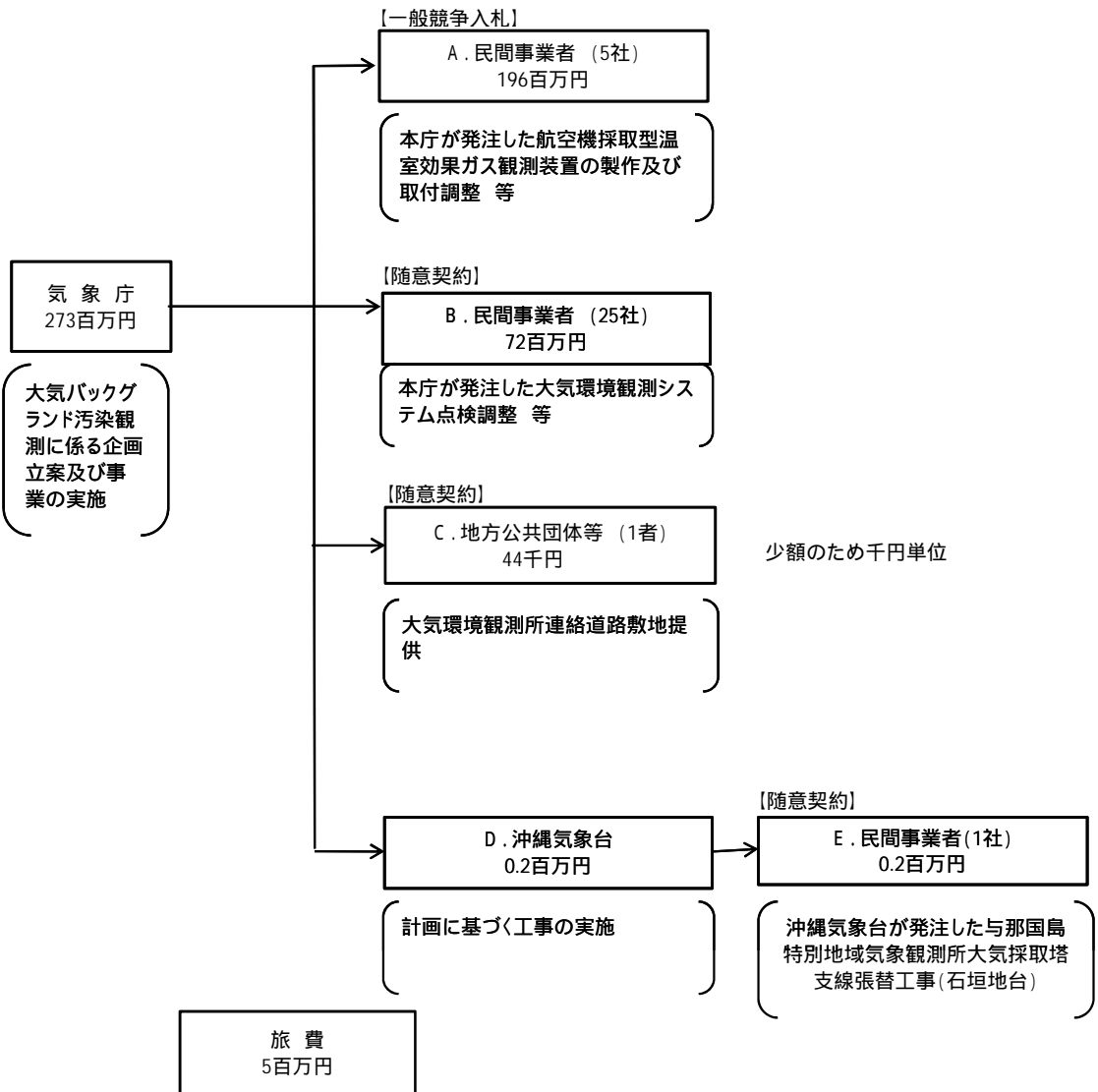


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	大気バックグラウンド汚染観測		担当部局	気象庁地球環境・海洋部		作成責任者	環境気象管理官 山田 眞吾	
事業開始・終了(予定)年度	昭和50年度～		担当課室	環境気象管理官		環境気象管理官 山田 眞吾		
会計区分	一般会計		施策名	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第11条) 地球温暖化対策の推進に関する法律(第3条)		関係する計画、通知等	第3次環境基本計画(平成18年中央環境審議会策定) 京都議定書目標達成計画(平成20年地球温暖化対策推進本部全部改定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に、3行程度以内)	地球温暖化を監視するとともに地球温暖化予測の不確実性を低減するために、大気中の温室効果ガス等の観測を長期にわたり継続的に実施し観測結果を公表することにより、地球温暖化対策等に係る政策決定に貢献する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスの観測や地球温暖化に影響を及ぼす大気中の微粒子(エアロゾル)の観測等を20年以上継続して実施している。全国3か所の観測地点(岩手県綾里、東京都南鳥島、沖縄県与那国島)は、世界気象機関の国際的な観測網に登録され、その観測データは気象庁の刊行物やWebページにおいて情報として公開するほか、WMO(世界気象機関)の資料センターに提供している。なお、平成16年度からは黄砂に関する実況値や予測情報の提供も実施している。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	192	103	273	103	84	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	192	103	273	103	84		
	執行額	192	102	273				
執行率(%)	100.0%	99.0%	100.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)	
	地球環境に関する気象情報について、平成19年度から平成23年度までの各年度に3件の改善または新規の情報提供を行う。	成果実績	件	7	9	11	15	
		達成度	%	47	60	73		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	観測回数 (観測種目数×時間数×日数) (温室効果ガス、エアロゾル等)	活動実績 (当初見込み)	回	219,000	219,000	219,000 (219,000)	219,600 (219,600)	
	情報の発表回数 (温室効果ガス・黄砂等)	活動実績 (当初見込み)	回	2,936	2,936	2,940 (2,940)	2,959 (2,959)	
	刊行物発行回数 (大気・海洋環境観測報告等)	活動実績 (当初見込み)	回	4	4	4 (4)	4 (4)	
単位当たりコスト	1,247(円/回)		算出根拠	H22執行額/H22観測回数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	4	4	・エアロゾル観測の廃止に伴う借料・維持費の平年化 210万円				
	観測予報庁費	98	80	・航空機採取型温室効果ガス観測装置の維持費の平年化200万円				
	土地建物借料	0	0					
	計	103	84					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
		不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途		支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
		単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績		他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<p>・平成19年3月～平成21年2月 順次、大気環境観測システムを整備・運用開始。新システムの導入により、温室効果ガス等を高精度で観測することを可能とした。</p> <p>・平成19年4月 大気混濁度の連続観測を開始。観測装置を更新するとともに、それまで3回/日であった観測装置を連続観測に変更。</p> <p>・平成21年10月 全球大気汚染気象情報データ処理装置の整備・運用開始。全球大気汚染気象予測モデル出力の処理や表示を行うことにより、平成22年8月から開始した全般スモッグ気象情報の発表に活用。</p> <p>・平成23年2月 航空機による温室効果ガスの観測を開始。温室効果ガスの三次元的な濃度分布を把握し、地球温暖化予測の精度向上に資する情報を提供。</p> <p>・平成24年1月(予定) 大気環境観測所におけるエロゾル観測装置(エロゾルライダー)の運用を廃止。</p>
		適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
		活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
		類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
		整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・当該事業は、国民の生命、財産を守る防災気象情報を迅速、的確に発表するためのもので国の防災上不可欠であることから、継続して実施する必要がある。</p> <p>・大気環境観測所(岩手県綾里)で行っているエロゾル観測を見直し、平成24年1月をもって廃止することとした。また、平成22年度は、競争性の確保等効率的な調達方法の実施に努めた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>観測データの代替が可能となったエロゾル観測の見直しによりコスト縮減が図られた。</p> <p>引き続き、調達の透明性・競争性の確保、ライフサイクルコストを考慮した複数年契約等調達方法の改善を図るべき。</p> <p>また、国民の安全・安心の基礎になる部分であり、事業の成果を国民にわかりやすく発信するよう取り組むべき。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
	<p>・当然減による減額。</p> <p>・チームの所見を踏まえ、引き続き、調達の透明性・競争性の確保、ライフサイクルコストを考慮した複数年契約等調達方法の改善を図る。</p> <p>また、事業の成果を国民にわかりやすく発信するため、気象庁ホームページにおける本事業に関する掲載内容を拡充する。</p>		
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補足
する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. 環境総合テクノス(株)			E.(株) 栄電社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
備品費	航空機採取型温室効果ガス観測装置の製作	153	工事費	与那国島特別地域気象観測所大気採取塔支線張替工事(石垣地台)	0.2
雑役務費	航空機採取型温室効果ガス観測装置の取付調整	2			
計		155	計		0.2
B. 環境総合テクノス(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	大気環境観測システム点検調整 等	25			
計		25	計		0
C.大船渡市会計管理者			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
借料及び損料	大気環境観測所連絡道路敷地借料	0.044			
計		0.044	計		0
D.沖縄気象台			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	与那国島特別地域気象観測所大気採取塔支線張替工事(石垣地台)	0.2			
計		0.2	計		0

支出先上位10者リスト

A

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境総合テクノス	航空機採取型温室効果ガス観測装置の製作及び取付調整	155	1	非公表
2	(株)関電L & A	大気環境観測システムの借用(リース)等	23		非公表
3	東京センチュリーリース(株)	全球大気汚染気象情報データ処理装置の借用及び保守	15	1	非公表
4	光陽商事(株)	自動車による職員送迎業務(大気環境観測所)	2	3	非公表
5	(株)鈴木商館	標準ガスほかの購入(単価契約)	1	2	非公表
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)環境総合テクノス	大気環境観測システム点検調整等	25	随意契約	
2	NECキャピタルソリューション(株)	エーロゾル観測装置の借用(リース)	15	随意契約	
3	(株)関電L & A	大気環境観測システムほかの借用(リース)	13	随意契約	
4	NECエンジニアリング(株)	エーロゾル観測装置の点検調整	5	随意契約	
5	日本サーモ(株)	オゾン標準ガス発生器の較正及びオゾン濃度計較正装置の点検調整等	2	随意契約	
6	シャープファイナンス(株)	JMA-95型地上気象観測装置他の借用	1	随意契約	
7	(株)島津製作所	メタン標準ガス較正装置点検調整等	1	随意契約	
8	日本空調サービス(株)	気象庁地下1階日射観測装置調整室空調機更新工事	1	随意契約	
9	(株)鈴木商館	ガス容器耐圧検査(単価契約)	1	随意契約	
10	大栄電気(株)	気象庁地下1階日射観測装置調整室分電盤更新工事	1	随意契約	

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大船渡市会計管理者	大気環境観測所連絡道路敷地借料	0.044	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	沖縄気象台	与那国島特別地域気象観測所大気採取塔支線張替工事(石垣地台)	0.2	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)栄電社	与那国島特別地域気象観測所大気採取塔支線張替工事(石垣地台)	0.2		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					